

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 2020 年度事業報告 < 2020.1.1-12.31>

新型コロナウイルスの感染が拡大したことに伴って、上半期は講師派遣事業や検定などの基幹になっていた事業が中止およびキャンセルとなり、収益は大幅に落ち込んだ。この事態に対し、理事および運営委員を中心に財源を確保するための対策を練り、コロナ対応の緊急募金に取り組むとともに、並行してボランティアコーディネーションに関わる人たちの学びと交流につながる種々のプログラムを企画し、6月以降~年末まで五月雨式に実施した。さらに国の持続化給付金、家賃支援給付金を申請し、給付を受けた。

理事会、運営委員会を始めとする多くの委員会や打ち合わせのほとんどをオンライン会議とし、 はじめは戸惑いながらの実施であったが、移動時間や経費負担の軽減につながり、参加率は大きく 上昇した。会員限定のオンライン企画(無料)なども行い、遠方の会員とも久しぶりの交流の場を 持つことができた。

当初の事業計画を大きく変更し、組織としての存続とミッションへのコミットメントを優先し、 臨機応変に取り組んだことで、次年度への余力を残して一年を終えることができた。

詳しくは個別の事業報告に記すが、中止あるいは大きく影響を受けた事業、緊急に企画・開催した主な事業については以下に列記する。

●中止した事業

- ・ボランティアコーディネーションカ3級主催検定(6月開催)
- ・ボランティアコーディネーションカ1級検定(7月開催)
- ・ボランティアコーディネーター基礎研修〈東京・大阪〉

●大きく影響を受けた事業

- ・講師派遣事業 2019 年度実績 107 件 ⇒ 2020 年度 52 件
- ・ボランティアコーディネーション力検定3級共催
 - ⇒ 中止3件/2021年1月への順延1件/年度内の順延3件
- ・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 ⇒懇親会を中止

<コロナ対策事業>緊急に企画・実施した主な事業 (開催方法の変更を含む)

- ・災害ボランティアコーディネーション集中講義
- ・20 周年カウントダウン企画・オンライン対談
- ・ボランティアコーディネーションスキルについてのオンラインセミナー
- ・コロナ禍で奮闘するボランティアコーディネーター全員集合
- ・オンライン(オンデマンド)による研修講師派遣
- ・コロナ禍におけるボランティア活動およびボランティアコーディネーションをめぐる実態調査
- ・3級検定直前研修の動画化

【感謝!】黒字で決算できた陰には関係者のみなさんの隠れた愛◎がいっぱい!

新型コロナウイルスの影響で講師派遣や研修事業が相次いで中止となり、どん底に陥った JVCA。 この窮地をどうにかしなければ!と立ち上がった理事・運営委員、そして呼びかけに応えてくれた仲間 のみなさんの知恵と行動で、たくさんの愛と高い志のつまった財源が集まりました。

1. 新型コロナ対応募金に 127 件、158 万円が寄せられました

毎年、年度末に寄付キャンペーンを行っていましたが、これを待てずに緊急募金を開始。財政 委員会を中心にみんなで手分けしてJVCAの窮状を訴え、ご寄付のお願いをさせていただきま した。目標金額を越える結果に、感謝の気持ちでいっぱいです。

2. コーディネーターの交流と学びにつながるオンラインセミナーを連続で開催しました

理事そして運営委員が自分にできるコンテンツを持ち寄って研修会を実施、チームを作って企画を練っての対談やセミナーの開催等々、あるものは惜しみなく使い、ないものは創りと、結果的に過去最高の回数と参加人数を記録! 登壇者や企画・運営スタッフはすべて無償(ボランティア)での協力。オンラインで会場費や広報費もかけずに実施し、講座収益は例年よりも 100 万円ほどプラスになりました。

3. 講師派遣の謝金を全額、あるいは按分を変えて JVCA に入れてくださいました

JVCA の講師派遣は通常、謝金を講師 7 割: JVCA3 割の按分にしていますが、「講師の取り分はなしでいいよ」「5:5で構わないから」などと、派遣件数や収益は減ったものの、実質的な寄付をしてくれた方々のおかげで費用(支出)の方も抑えられました。

4. 収入が落ち込んだ事業者を救済する国の給付金を積極的に活用しました

【持続化給付金】200万円、【家賃支援給付金】57万円を申請し、ゲット! 申請書類をそろえるのには苦労もありましたが、無事給付を受けることができました。

5. これに加え、管理費にかかる費用(支出)の減少が大きな黒字の要因になりました

感染防止のために会議にはオンラインを活用したことで、「旅費交通費」や「会議費」などが予算対比で 143万円も減少しました。2月に常勤職員の退職があり、これを4月以降は週2日の非常勤職員で対応したため、人件費や法定福利費を合わせると 264万円もの経費ダウンとなりました。

一 こうして 430 万円余りのストックを残して決算することになりましたが、安心してはいられません。コロナの収束の見通しは立たず、2021 年度の事業も不安定かつさまざまな制限のある展開が予想されます。会費の納入率が下がっている現実もあります。そのため 2021 年度の予算は大きな赤字の状態で

引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

組まざるを得ませんでした。



1 事業の推進

(1) 全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)の開催

①「全国ボランティアコーディネーター研究集会(JVCC)2020 東京」の開催及び評価 独立行政法人国立青少年教育振興機構との共催で第26回の集会を開催した(実行委員長:村上徹 也氏)。月1回程度の実行委員会を開きプログラムを企画し、実施した。新型コロナウイルスの感染 が広がり始めたため、会場にはアルコール消毒液を設置し、マスクの着用や手洗いの徹底を求める など参加者にも予防対策をお願いした。交流会は感染リスクが高いと判断し直前に中止を決定した。

テーマ:いま、あらためてボランティアの価値を問う一多様性をチカラに、TOKYOから未来へ一

期 日:2020年 2月22日(土)~23日(日) 会 場:国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者:229人

講師・事例報告者等:延べ62人(実行委員を含む)

実行委員:47人 運営協力者:4人 運営ボランティア:17人







実行委員会開催状況

	期 日	会 場	人数
第9回	1月26日(日)	国立オリンピック記念青少年総合センター	31人
第 10 回	2月11日(火・祝)	国立オリンピック記念青少年総合センター	35 人
第11回	3月22日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	33人

②「市民の参加と協働をすすめる多様なコーディネーション実践研究集会」の準備

独立行政法人福祉医療機構(WAM)に申請した事業が採択され、企画委員の人選および依頼を行った。委員長には大阪ボランティア協会理事長の早瀬昇氏を選任した。申請時は通常の対面による集合型集会を想定していたが、新型コロナウイルスへの感染予防のため、企画委員会および集会の開催方法をオンラインでの実施に切り替え、WAMに対して申請内容の変更を提出した。

企画委員会開催状況

	期 日	形 態	人数
第1回	8月10日 (月・祝)	オンライン	26 人
第2回	8月30日(日)	オンライン	26 人
第3回	9月21日 (月・祝)	オンライン	24 人
作業委員会	10月1日(木)	オンライン	_
作業委員会	10月12日 (月)	オンライン	_
第4回	10月17日 (土)	オンライン	23人
作業委員会	10月23日(金)	オンライン	_
作業委員会	10月24日 (土)	オンライン	_
第5回	10月31日(土)	オンライン	24 人
第6回	11月14日 (土)	オンライン	23人

(2) 研修の開催および研修企画の支援

①各種研修セミナーの開催

・初任者向け:計画2回 ⇒実績なし

ボランティアコーディネーター基礎研修(東京会場)⇒ 中止

第 46 期ボランティアコーディネーター養成講座(大阪ボランティア協会共催)⇒中止

【緊急コロナ対策(開催方法の変更)】

・実践者向け:ボランティアコーディネーター実務研修 計画2回 ⇒ 実績5回 ボランティアコーディネーションスキルについてのオンラインセミナー (ZOOM を利用してオンラインで実施)

No	研修名	開催日	講師	人数
1	リスクマネジメント研修	9月15日(火)	後藤麻理子	28人
2	リコグニション研修	9月18日(金)	小原 宗一	17人
3	ファシリテーション基礎研修	9月24日(木)	加留部貴行	19人
4	オンラインファシリテーション研修	10月1日(木)	加留部貴行	41人
5	対話を通じた問題解決セミナー 「ボランティアの高齢化と向き合う」	12月14日(月)	加留部貴行	22人

②研修への講師派遣と講座等の企画支援

・研修への講師派遣を希望する団体に対し、開催の目的やねらい、テーマ等を調整したうえで、J V C A の理事・ 役員等を派遣した。

派遣 52 件 研修日数 68 日 / 派遣講師 11 人 (実人数) ※別表参照

・講師派遣事業拡大のためにWEBサイトにオンライン・オンデマンドによる「講師派遣の案内」を掲載、研修メニュー、 講師リストも更新した。

③検定直前研修の実施

- ・ボランティアコーディネーションカ1級検定直前研修の開催 1回・1ヵ所(大阪)⇒中止
- ・ボランティアコーディネーションカ2級検定直前研修の開催 2回(東京・大阪)⇒(3)に掲載
- ・ボランティアコーディネーション力 3 級検定直前研修の開催 2 回・4 ヵ所(東京 2、大阪 2) ⇒ 6 月開催は中止 / 12 月開催は(3) に掲載
- ・ボランティアコーディネーション力3級検定直前研修の共催8回⇒(3)に掲載

④基礎的な研修コンテンツの映像化

富士通ラーニングメディア(FLM)との提携により、ボランティアコーディネーター基礎研修の2科目をe動画講義で作製。5月下旬からFLMより販売を開始した。

販売実績:ボランティアとコーディネーション概論 23件 /ボランティアマネジメント 23件

(5)【緊急コロナ対策】オンライン企画の開催(ト半期)

研修のオンライン化に名乗りを上げた理事と研修開発委員会が協力して、オンラインの企画を作成し実施した。

<オンライン研修開発のためのミーティング開催>

	期 日	形 態	参加人数
第1回	5月22日(金)	オンライン	6人
第2回	5月29日(金)	オンライン	6人
第3回	6月13日(土)	オンライン	8人

く災害ボランティアコーディネーション集中講義の開催>

	期 日	形態	講師/ホスト	申込人数	参加人数
第1回	6月18日(木)	オンライン	石原 達也/青山 織衣	68人	60 人
第2回	6月25日(木)	オンライン	遠山 昌子·菊池 哲佳	56人	39 人
			/上田 英司		
第3回	7月 1日 (水)	オンライン	長谷部 治・石原 達也	60人	45 人
			/青山 織衣		

<会員限定企画:20周年カウントダウン企画・オンライン対談>

	期 日	形 態	ゲスト/ホスト	人数
第1回	6月19日(金)	オンライン	筒井のり子/加留部貴行	30人
第2回	6月26日(金)	オンライン	早瀬 昇/加留部貴行	31人
第3回	7月3日(金)	オンライン	小原 宗一/加留部貴行	25 人
第4回	7月10日(金)	オンライン	妻鹿ふみ子/加留部貴行	31人

⑥【緊急コロナ対策】オンライン企画の開催(下半期) 理事がタスクごとにチームを作り、運営委員にも参加を呼びかけて、有料の対談企画を実施した。

i) 「コロナ禍で奮闘するボランティアコーディネーター全員集合!『ここだけの話』します」(オンライン)

No	企画名	開催日	登壇者	МС	人数
1	コロナ禍で	12月1日(火)	岩井 俊宗	永井 美佳	28人
	若者の社会参加支援はいかに!?		赤澤 清孝	國實紗登美	
2	コロナ禍でまちづくり・	12月9日(水)	西川正	永井 美佳	31人
	ひとづくり活動はいかに!?		戸田千登美	青山 織衣	
3	コロナ禍で	12月23日(水)	前山 憲一	永井 美佳	26人
	ボランティア活動は不要不急か		長谷部 治	佐藤 匠	

- ii) 新春対談企画「社協のこれからをマジで考えます。 社協経営に第三の道はあるのか?」の企画、広報
- iii) 講師派遣のオンライン化を検討し、サポート体制を整備した。
- iv) コロナ禍におけるボランティアコーディネーション現場のニーズ把握を実施した。 『コロナ禍におけるボランティア活動およびボランティアコーディネーションをめぐる実態調査』の実施 実施期間 10月22日(木)~11月3日(火)

対 象 JVCA 会員(メールアドレスの登録者)

回答数 101件

v) 前掲の緊急事業実施のための担当理事・運営委員によるタスクチームミーティング

No	担当するタスク	開催日	形態
1	既存の研修をオンライン化するチーム (研修開発委員会)	8月2日 (日)	オンライン
2	ボランティアコーディネーションについて考えるオンライン対談を 検討するチーム	10月13日(火) 10月21日(水)	オンライン
3	社協のこれからを考えるオンライン対談を検討するチーム	10月29日(木)	オンライン
4	講師派遣のオンライン化を検討するチーム	8月7日 (金)	オンライン
5	事業の新機軸について検討するチーム	8月13日 (木)	オンライン
6	コロナ禍におけるボランティア活動・コーディネーションをめぐる 実態調査を設計し、実施、集計・分析するチーム	10月2日(金) 10月6日(火) 11月30日(月)	オンライン

(3) ボランティアコーディネーション力検定の実施

①ボランティアコーディネーション力 1 級検定試験の実施 計画 1 回 ⇒ 開催なし 新型コロナウイルスの感染を予防するために中止した。 ②ボランティアコーディネーション力 2 級検定試験の実施 計画 2 回、2 n所 \Rightarrow 1 回、2 n所 \Rightarrow 1 回、2 n所 9 月に大阪で、10 月に東京で開催を予定していたが、開催日を 10 月に合わせ、同日開催とした。

開催地·会場	期 日	講師	受験者
第1回(通算第20回)		【東京】鹿住貴之、疋田恵子、	24 人
東京:大学生協杉並会館	10月10日-11日	後藤麻理子、栗木梨衣	
第 1 回(通算第 20 回)	(土・日)	【大阪】早瀬 昇、竹田純子、	17人
大阪:大阪ボランティア協会		新堀春輔	

<実施結果>

試験結果	第1回		合計
1 武炭石未	東京	大阪	口司
受験者数	24 人	17人	41 人
合格者数	23人	13人	36人
合格率	95.8%	76.5%	87.8%

③ボランティアコーディネーションカ3級検定試験の実施 計画2回(主催)⇒実績1回

6月27日(土)に開催を予定していた検定は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、開催を中止した。

4 月の通常では広報開始時点において緊急事態宣言が出されており、会場が感染者の多い東京と大阪だったため、感染のリスクへの対策が取り切れないと判断した。そのため検定の広報開始も見合わせた。

この状況をふまえ、直前研修の動画化を図り、講師が赴かずに開催できる方法を構築した。

・3級検定直前研修の動画化(ZOOM録画)配信

担当:序章:後藤麻理子、第1章:早瀬昇、第2章:筒井のり子

<第1回検定の実施> (通算第29回)

開催地・会場	期日	講師	受験者
東京第1会場:飯田橋セントラルプラザ	12月6日(日)	鹿住 貴之	72 人
<協力:東京ボランティア・市民活動センター>	12月6日 (日)	矢島 万理	
東京第2会場:東京ボランティア・市民活動センター	•直前研修	土崎 雄祐	
<協力:東京ボランティア・市民活動センター>	•検定試験	後藤 麻理子	
岐阜会場 : ハートフルスクエア G		三田 響子	42 人
<協力:岐阜市生涯学習センター/岐阜市市民活			
動交流センター/岐阜市社会福祉協議会>			
大阪会場 : 大阪府社会福祉会館		永井 美佳	48 人
<研修共催:大阪ボランティア協会>		竹田 純子	

試験結果		第1回		合計
1 武炭石未	東京	岐阜	大阪	口司
受験者数	72 人	42 人	48 人	162人
合格者数	67人	33人	45 人	145 人
合格率	93.1%	78.6%	93.8%	89.5%

<共催検定> (計画 8回 ⇒ 実績8回)

共催団体	期日	講師	受験者
① やまぐち県民ネット21	2月9日(日)	土崎 雄祐	51 人
② 東北公益文科大学	9月12日(土)	※動画使用	42 人
③ 長野県社会福祉協議会	9月27日(日)	※動画使用	20 人
④ 東京ボランティア・市民活動センター	10月3日(土)	三田 響子 後藤 麻理子	39 人
⑤ 沖縄県社会福祉協議会	11月14日(土)	唐木 理恵子	25 人
⑥ とちぎYMCA	11月14日(土)	土崎 雄祐	51人
⑦ 東京都立大学	12月12日(土)	三田 響子 後藤 麻理子	9人
⑧ 龍谷大学	12月19日(土)	筒井 のり子	28人

≣₩₩₽₩₩	共催検定								
試験結果	1	2	3	4	(5)	6	7	8	合計
受験者	51人	42 人	20 人	39 人	25 人	51 人	9人	28人	265 人
合格者	40 人	35 人	18人	38人	18人	45 人	9人	27人	230 人
合格率	78.4%	83.3%	90.0%	97.4%	72.0%	88.2%	100.0%	96.4%	86.8%

④ボランティアコーディネーション力検定試験委員会の運営

・ボランティアコーディネーション力検定試験委員会 ◎委員長 ○副委員長 ☆各級チームリーダー

No	委員名	所属	担当
◎ 1	妻鹿ふみ子	東海大学	総括
☆ 2	小原 宗一	北区社会福祉協議会	1級
3	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会	1級
4	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク	1級
5	上田 英司	日本 NPO センター	1級
6	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会	1級
○☆7	栗木 梨衣		2級
8	公文真理亜	北九州市社会福祉協議会	2級
9	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO 活動センター	2級
10	垂井 加寿恵	神戸学院大学 ボランティア活動支援室	2級
11	赤澤清孝	ユースビジョン	2級
12	濱屋 伸子	京都市国際交流協会	2級
13	新堀 春輔	京都市環境保全活動推進協会	2級

☆14	加留部貴行	九州大学	3 級
15	唐木理恵子	日本ボランティアコーディネーター協会	3 級
16	土崎 雄祐	とちぎ市民協働研究会	3 級
17	足立 陽子		3 級
18	三田 響子	相模原市社会福祉協議会	3 級

・試験委員会および各級チームミーティングの開催

<試験委員会の開催>

委員会	期 日	形 態	参加人数
第1回	6月28日(日)~7月1日(水)	Eメールにより審議・承認	18人

<1級検定チーム> 開催なし

<2級検定チーム>

	期 日	形 態	参加人数
第1回	6月27日(土)	オンライン	7人
第2回	8月 8日 (土)	オンライン	6人
第3回	8月22日(土)	オンライン	7人
第4回	9月12日(土)	オンライン	7人

<3級検定チーム>

	期 日	会場·形態	参加人数
採 点	2月14日(金)	JVCA 事務所	3人
第1回	2月26日(水)	JVCA 事務所	5人
第2回	4月26日(日)	オンライン	5人
第3回	8月4日(火)	オンライン	3人
採 点	10月1日(木)	JVCA 事務所	4人
採 点	10月3日(土)	東京ボランティア・市民活動センター	5人
第4回	10月4日(日)	オンライン	5人
採 点	11月26日(木)	JVCA 事務所	4人
第5回	11月29日(日)	オンライン	5人
採 点	12月6日(日)	各試験会場(3か所)	14人
採 点	12月12日(土)	東京都立大学	2人
採 点	12月25日(金)	JVCA 事務所	3人

⑤ボランティアコーディネーション力検定研修委員会の運営

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	小原 宗一	北区社会福祉協議会

3	加留部貴行	九州大学大学院
4	栗木 梨衣	
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会
6	竹田 純子	龍谷大学 ボランティア・NPO活動センター
7	筒井 のり子	龍谷大学
8	早瀬昇	大阪ボランティア協会
9	疋田 恵子	杉並区社会福祉協議会

<委員会の開催>

	期 日	形態	参加人数
第1回	5月10日(日)	オンライン	9人
第2回	6月 7日 (日)	オンライン	9人
第3回	7月 5日 (日)	オンライン	9人
第4回	12月3日(木)	オンライン	7人

- ⑥『ボランティアコーディネーション力 1 級検定テキスト』の送付 ⇒検定を中止したためテキストの作成・送付は行わなかった。
- ⑦『ボランティアコーディネーションカ 2 級検定サブテキスト』の送付 ⇒2 級検定サブテキストを増刷し、検定受験者へ送付した。
- ⑧1級・2級検定合格者フォローアップ企画の開催
 - ・全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 の前日企画として、「ボランティアコーディネーション力検定 1・2 級合格者の集い」を企画し、実施した。

タイトル	期日·会場	ホスト・企画	参加人数
ボランティアコーディネーション力	2月21日(金)	鹿住 貴之	26人
1・2級検定合格者の集い	19:00~22:00	熊谷 紀良	
	飯田橋セントラルプラザ	三田 響子	

- ⑨検定事業の PR (受験者拡大、共催団体の開拓):検定プロモーションプロジェクトチーム担当
 - ・検定合格者がいることをアピールするためのバナーを作成し、該当団体への周知と掲載を依頼した。
 - ・検定の個別 P R をお願いするために、大学教員・職員リストを作成した。

(4) 情報の収集及び提供活動の推進

- ①メールマガジンの発行(月1回程度) 174号~180号
- ② J V C A 公式 Facebook の運営 随時発信
- ③WEBサイトの情報更新
- ④雑誌・新聞、出版物などへの寄稿など『ボランティア情報』(全国社会福祉協議会発行)4~12月号連載「コーディネートのチカラワザを磨く!」(第1回~第9回)

⑤ボランティアおよびボランティアコーディネーションについての普及啓発

- ・『ボランティアコーディネーター基本指針』ブックレット、『グッドプラクティス事例集』等の販売促進及び主催研 修や講師派遣先での普及啓発
- ・「ご存知ですか?ボランティアコーディネーター」ポスターの配付
- ・社会的な動向やトピックに関する情報収集と必要な発信をする。(アドボカシー)
- i)【緊急メッセージ】新型コロナウイルスの感染拡大を受けて ~人と人のつながりを大切にするボランティアコーディネーターの皆さんへ
- ii)「休眠預金等活用法の暫定措置に関する要望書」への賛同
- iii)「未来の豊かな"つながり"のための全国アクション Iへの主唱団体としての参加

(5) 広報紙および出版物の発行

①ニュースレター『Co★Co★Net』の発行 年3回(発行月:4月、8月、12月)

Co★Co★Net 第59号 特集: JVCC2020 開催報告

4月28日発行 500部

Co★Co★Net 第60号 特集: 20周年カウントダウン オンライン対談

8月28日発行 500部

Co★Co★Net 第61号 特集: コロナ禍におけるV·V Coを取り巻く実態調査

12月20日発行 500部

②『グッドプラクティス事例集 VOL.3』の編集・発行

2月20日発行 A5 判 59ページ 本体価格800円+消費税 500部

(6)調査・研究活動の推進

①実務者向けボランティアコーディネーター研修体系の検討

第4期中期ビジョンの方針をふまえて、研修開発委員会を中心にボランティアコーディネーションの実務者向けの研修体系を作成した。

本年度はコロナ禍が継続し、対面での研修開催は難しかったため、既存の研修のなかでオンライン化できるプログラムをオンラインで実施した。 ※ (2)①参照

<研修開発委員会の開催>

0	期 日	会 場	参加人数
第1回	5月17日(日)	オンライン	4人
第2回	5月23日(土)	オンライン	4人
第3回	6月 7日 (日)	オンライン	4人
第4回	6月21日(日)	オンライン	4人

②グッドプラクティス認定システム化委員会の設置

優れたボランティアコーディネーション実践を認定するシステムを構築するために委員会を設置した。

本年度は、募集を公募とし、昨年施行した認定とともに、ボランティアコーディネーションの場面での創意工夫や 仕掛けを評価する「キラリと光るアイデア部門」を新設した。

公募期間:2020年7月15日(水)~9月8日(火)

応募総数:11件

(キラリと光るアイデア部門 5件/グッドプラクティス認定部門 6件)

選考結果(認定): キラリと光るアイデア部門 3件/グッドプラクティス認定部門 4件

・「グッドプラクティス認定システム化委員会」の設置

No	委員名	所 属
1	岩井 俊宗	とちぎユースサポーターズネットワーク
2	上田 英司	日本 NPO センター
3	小原 宗一	北区社会福祉協議会
4	妻鹿ふみ子	東海大学
5	後藤麻理子	日本ボランティアコーディネーター協会

<委員会の開催>

	期 日	会 場	参加人数
第1回	6月5日(金)	オンライン	5人
第2回	7月20日(月)	オンライン	5人
第3回	9月2日 (水)	オンライン	5人
第4回	10月21日 (水)	オンライン	5人

<グッドプラクティス情報交換会の開催>

回	期 日	会 場	参加人数
第1回	8月12日 (水)	オンライン	15人
第2回	8月16日(日)	オンライン	8人

③市民マラソン等のスポーツ大会におけるボランティアマネジメントの状況把握

⇒トヨタ財団の助成金を申請したが不採択となった

④『ボランティア報道のガイドライン (仮称) 』づくり

⇒東京オリンピック・パラリンピックが延期になったこと、コロナが急速に広がり始めたことを受けて保留とし、次年度に取り組むこととした。

(7) ボランティアコーディネーターの交流の促進

① С о С о サロンの開催・運営支援

·CoCoサロンの開催状況

No	開催日	サロン名	会場	人数	テーマ
1	1月29日	CoCo サロン	生き方のデザイン	7人	恒例化した施設行事への疑問をもとに
	(水)	北九州 Link 福	研究所		様々な視点から協議を行い、コーディネー
		祉施設			ターが果たす役割を考えた。
2	5月27日	CoCo サロン	生き方のデザイン	18人	はじめてのオンラインサロンとして開催。全
	(水)	北九州 Link 福	研究所		国からの参加を得て、コロナ禍のボランティ
		祉施設	&オンライン		ア活動の今と未来について考えた。

3	6月11日	オンライン de	オンライン	15人	加留部貴行さんの呼びかけで、ZOOM 体
	(木)	おじゃべり CoCo			験と会員交流を開催。懐かしいメンバーの
		サロン			参加もあり、近況を紹介しあった。
4	7月29日	CoCo サロン	生き方のデザイン	6人	「コロナ禍における活動とそれを支える想
	(水)	北九州 Link 福	研究所		い」「豪雨災害とボランティア活動」の2つ
		祉施設	&オンライン		をテーマに情報交換を行った。
5	9月27日	CoCo サロン	楽家&オンライン	4人	お元気ですか?オンラインで CoCo サロン
	(日)	庄内			〜with コロナで変わったこと 変わらなかっ
					たこと~」というテーマで開催した。
6	9月30日	CoCo サロン	生き方のデザイン	9人	ウイズコロナとアフターコロナをどう支えあう
	(水)	北九州 Link 福	研究所		か?コロナ禍での災害支援、防災のあり
		祉施設	&オンライン		方について話し合った。
7	11月25日	CoCo サロン	生き方のデザイン	7人	初参加の方も多く、自己紹介とざっくばら
	(水)	北九州 Link 福	研究所		んな情報交換の場を通して、ボランティアと
		祉施設	&オンライン		コーディネーションの深い話し合いとなった。
8	12月16日	CoCo サロン	オンライン	16人	「こんな時だけど」「こんな時だからこそ!」
	(水)	東北			新しい生活様式の中での新たな東北のつ
					ながりを生みだすサロンを開催した。
9	12月19日	CoCo サロン	オンライン	4人	コロナ禍における近況を雑談的に振り返
	(土)	ながの			り、情報交換を行った。

②国内外の関係団体との連携

国内の関係団体とボランティアコーディネーションの普及に関連する事業に協力・後援し、連携を深めた。

<参加・協力>

- ・「広がれボランティアの輪」連絡会議への参加 幹事会への参加/ボランティア全国フォーラムの企画参加
- ・東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)への参加
- ・他団体が実施(主催)する委員会等への協力、参加(委員委嘱)
 - i) 東京都中央区地域振興課:中央区協働推進会議 委員
- ii) 全国社会福祉協議会:全国ボランティア・市民活動振興センター運営委員会
- iii) 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議(支援 P) 委員
- iv) 千葉県環境生活部:ボランティア参加促進事業委託事業者選考委員
- v)シャプラニール=市民による海外協力の会:理事
- vi) 東京ボランティア・市民活動センター:中間支援組織スタッフの支援力アップ塾企画・評価委員
- vii) 厚生労働省委託 ボランティア休暇・ボランティア活動普及広報事業:検討委員
- <後援>FRJ2020 ファインドレイジング・日本(日本ファンドレイジング協会)
- ③会員メーリングリストによる会員相互の相談・助言の促進 会員メーリングリストに寄せられる相談を通して会員間のコミュニケーションを促進した。 会員メーリングリストの活用 154 件
- ④ Facebook に会員限定のグループ「集まれ!ボランティアコーディネーター」を立ち上げた。



2 組織運営と財政

(1) 通常総会

日 時 2020年2月23日(日)15時45分~17時40分

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センターセンター棟 417 (東京都)

正会員数 327 人

定足数 164人

出席者数 249 人(会場 57 人、意思表明 96 人、委任 96 人)

審議事項 第1号議案 2019年度事業報告ならびに決算について

第2号議案 第4期中期ビジョン案について

第3号議案 2020年度事業計画ならびに予算案について

第4号議案 第11期 役員体制について

一すべての議案について承認された。

(2)理事会

第 11 期 特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会 理事名簿 (2020年4月1日~2022年3月31日) ©代表理事 ○副代表理事

	No.	氏 名	所 属 先	地域
0	1	青山 織衣	一般社団法人岸和田シティプロモーション推進協議会	大阪府
	2	石原 達也	特定非営利活動法人岡山 NPO センター	岡山県
	3	上田 英司	特定非営利活動法人日本 NPO センター	東京都
	4	小原 宗一	社会福祉法人北区社会福祉協議会	東京都
0	5	鹿住 貴之	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK	東京都
	6	菊池 哲佳	公益財団法人仙台観光国際協会	宮城県
	7	筒井 のり子	龍谷大学	滋賀県
	8	遠山 昌子	一般社団法人生き方のデザイン研究所	福岡県
	9	戸田 千登美	公益財団法人長野県長寿社会開発センター	長野県
	10	永井 美佳	社会福祉法人大阪ボランティア協会	大阪府
	11	長谷部 治	社会福祉法人神戸市兵庫区社会福祉協議会	兵庫県
	12	疋田 恵子	社会福祉法人杉並区社会福祉協議会	東京都
0	13	妻鹿 ふみ子	東海大学	神奈川県
	14	矢島 万理	公益社団法人国土緑化推進機構	東京都

・理事会の開催 計画:4回 ⇒ 実績:5回(定例4回/臨時1回)

	日 程	会 場	出席	審議事項
第 70 回	1月25日 (土)	龍谷大学 大阪梅田キャン パス 研修室	15人	第1号議案 2019 年度事業報告および決算 案について/第2号議案 第4期中期ビジョン 案について/第3号議案 2020 年度事業計 画および予算案について/第4号議案 第11 期役員体制について
第 71 回	4月5日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 正副代表理事の互選について
臨時 理事会	7月6日 (月)	オンライン	12人	第1号議案 2020年度夏期賞与の支給について
第 72 回	7月26日 (日)	オンライン	14人	第1号議案 2020年度事業の進捗及び予算 執行状況について/第2号議案 下半期(一部は中期的)の事業展開の提案について/第3号議案 緊急かつ重要事案に関する意思決定のルールについて/第4号議案 WAM助成事業の計画内容の変更について/第5号議案 ボランティアコーディネーター実務者研修体系案について/第6号議案 グッドプラクティス 応募促進のための情報交換会の開催について
第 73 回	12月20日 (日)	オンライン	13人	第1号議案 2021 年度事業計画および暫定 予算案について/第2号議案 2021 年度検 定試験委員の任命について/第3号議案 2020 年度グッドプラクティスの認定について

(2)-2 理事・運営委員合同会議など

名 称	日 程	形 態	議 題
正副代表理事会議	7月2日 (木)	オンライン	事務局職員の夏の賞与について
正副代表理事会議	8月19日 (水)	オンライン	コロナ対策の緊急事業について
理事·運営委員合同会議	9月4日(金)	オンライン	コロナ対策の緊急事業の進め方
組織体制のあり方検討	10月25日(日)	東京ボランティ ア・市民活動 センター	次年度以降の事務局体制など
組織体制のあり方検討	11月6日(金)	オンライン	次年度以降の事務局体制など
組織体制のあり方検討拡大会議	11月20日(金)	オンライン	次年度以降の事務局体制など

(3)委員会

①運営委員会 月1回、12回開催する。開催予定地:東京・大阪など

3 月以降は、新型コロナウイルスへの感染を予防するため ZOOM によるオンライン会議の形式を取り入れた。 感染者数の動向を見ながらハイブリッド型で開催した回もあるが。基本的に遠方からの移動をさけて開催した。 オンライン化により全国からの参加のハードルが下がり、例年と比較し参加率は上がった。夏に計画していた宿泊・ 飲食を伴う合宿については中止とした。

2020年度運営委員体制(2020.4-2021.3)

◎委員長 ○副委員長

	2020	平 反) (2020.4-	2021.3)	
	NO	氏 名	地域	所 属	
	1	岩浪 武司	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす	
	2	栗原 穂子	山形	特定非営利活動法人ぼらんたす	
	3	土崎 雄祐	栃木	一般社団法人とちぎ市民協働研究会	
	4	藤久保 誠	栃木	特定非営利活動法人ま・わ・た	
	5	宮城 智広	埼玉	鶴ヶ島市社会福祉協議会	
	6	相澤 満	東京	社会福祉法人武蔵野会 リンクス椚田	
	7	鹿住 貴之	東京	認定特定非営利活動法人 JUON(樹恩)NETWORK	
	8	唐木理恵子	東京	紬ワークス	
\circ	9	熊谷 紀良	東京	東京都社会福祉協議会	
	10	後藤麻理子	東京	特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	
	11	高橋 義博	東京	府中市市民活動センタープラッツ	
	12	直井 友樹	東京	特定非営利活動法人 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)	
	13	疋田 恵子	東京	杉並区社会福祉協議会	
	14	武藤 祐子	東京	千代田区社会福祉協議会	
	15	三田 響子	神奈川	相模原市社会福祉協議会	
	16	竹脇 恵美	長野	公益財団法人長野県長寿社会開発センター木曽支部	
0	17	佐藤 匠	愛知	至学館大学	
	18	野尻 紀恵	愛知	日本福祉大学	
	19	清水 由子	岐阜	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団	
	20	國實 紗登美	滋賀	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター	
	21	筒井のり子	滋賀	龍谷大学	
	22	橋詰 勝代	滋賀	高島市社会福祉協議会	
	23	髙橋 あゆみ	京都	同志社大学	
	24	椎名 保友	大阪	特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク	
	25	早瀬 昇	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会	
0	26	椋木 美緒	大阪	社会福祉法人大阪ボランティア協会	
	27	杉浦 健	兵庫	共働プラットホーム	
	28	橋口 文博	兵庫	特定非営利活動法人じゅうしん神戸	
	29	加留部貴行	福岡	九州大学大学院	
	30	鈴木千惠子	佐賀	佐賀大学	

・運営委員会の開催 計画 12 回 ⇒実績 12 回

□	日 程	会 場	出席
第1回	1月19日(日)	東京ボランティア・市民活動センター	16人
第2回	2月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	13人
第3回	3月 7日(土)	東京ボランティア・市民活動センター &キャンパスプラザ京都&オンライン	22人
第4回	4月25日(土)	オンライン	25人
第5回	5月17日(日)	東京ボランティア・市民活動センター&オンライン	25 人
第6回	6月13日(日)	オンライン	27人
第7回	7月11日(土)	オンライン	24 人
第8回	8月8日(土)	オンライン	24 人
第9回	9月22日 (火·祝)	オンライン	24 人
第 10 回	10月25日(日)	東京ボランティア・市民活動センター&オンライン	21人
第 11 回	11月8日(日)	キャンパスプラザ京都 &飯田橋セントラルプラザ&オンライン	21 人
第12回	12月13日(日)	オンライン	20 人

②各種委員会の運営

各種事業の進行管理を徹底し、事業推進と組織運営への会員参加を進めるため、理事、運営委員、一般会員の参加で以下の委員会を推進する。

<委員会の開催>

i) 研修開発委員会…実務者向け研修の体系化、実務者向け研修のプログラム開発と試行 (小原宗一、加留部貴行、筒井のり子、後藤麻理子) ※事業推進(6)-①の再掲

	日 程	会 場
第1回	5月17日(日)	オンライン
第2回	5月23日(土)	オンライン
第3回	6月 7日 (日)	オンライン

ii) J V C C企画委員会 …全国ボランティアコーディネーター研究集会 2020 企画・運営協力、2021 開催 (W A M助成事業) に向けての企画、準備、参加

(杉浦 健、唐木理恵子、土崎雄祐、三田響子、椋木美緒、橋詰勝代、野尻紀恵)

	日 程	会 場
第1回 ※拡大	5月30日(土)	オンライン
第2回	7月 4日 (土)	オンライン

※研究集会企画委員会作業チーム:早瀬昇、上田英司、鹿住貴之、加留部貴行、筒井のり子、 長谷部治、後藤麻理子

iii) 財政委員会 …財政シミュレーションと財源強化対策、活動予算および補正予算の作成 (早瀬 昇、鹿住貴之、土崎雄祐、阿部陽一郎、三田響子、熊谷紀良)

	日 程	会 場
第1回	4月25日(土)	オンライン
第2回	6月 4日 (木)	オンライン

第3回 ※拡	大 6月28日(日)	オンライン
第4回	8月8日(土)	オンライン
第5回	8月29日(土)	オンライン
第6回	11月15日(日)	オンライン
第7回	12月13日(日)	オンライン

※緊急募金対策会議:理事有志

iv) WEB 委員会 … J V C A 公式 Facebook の運営、W E B サイトのメンテナンス

(橋口文博、高橋義博、佐藤 匠、相澤 満、宮城智広)

	日 程	会 場	
第1回	2月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	
第2回	5月14日(木)	オンライン	
第3回	6月11日(木)	オンライン	
第4回	7月7日 (火)	オンライン	
第5回	8月3日(月)	オンライン	
第6回	9月17日 (木)	オンライン	
第7回	11月3日 (火·祝)	オンライン	

v)地域プロモーション委員会…ココサロンの呼びかけ、開催支援。エリアメイトとのエリアアクション開催、など (加留部貴行、熊谷紀良、疋田恵子、武藤祐子、佐藤匠、岩浪武司、栗原穂子、竹脇恵美、青山織衣、 椎名保友、直井友樹、藤久保誠、相澤 満、橋詰勝代、髙橋あゆみ、鈴木千恵子)

	日 程	会 場
第1回 ※拡大	5月30日(土)	オンライン
第2回	7月 4日(土)	オンライン
第3回	9月19日(土)	オンライン
第4回	9月22日 (火·祝)	オンライン
第5回	10月25日(日)	オンライン
第6回	11月8日(日)	キャンパスプラザ京都&飯田橋セントラルプラザ&オンライン
第7回	12月13日(日)	オンライン

③専門委員会の設置、運営

- i)ボランティアコーディネーションカ検定試験委員会(継続)⇒事業推進(3)-④参照
- ii) ボランティアコーディネーション力検定研修委員会(継続)⇒(3)-⑤参照
- iii) グッドプラクティス認定システム化委員会(継続)⇒(6)-②参照

④プロジェクトチームの運営

各種委員会の他に、必要に応じて各種チームを構成し、事業の進行を図る。

i)検定プロモーションプロジェクトチーム(継続)

(鹿住貴之、國實紗登美、清水由子、早瀬昇、藤久保誠)

	日 程	会 場	
第1回	2月16日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	
第2回	5月17日(日)	龍谷大学大阪梅田キャンパス	
第3回	7月11日(土)	オンライン	
第4回	9月22日(火·祝)	オンライン	

(4) 監事監査の実施

2019 年度の事業執行についての監事監査を実施した。

日時 2020年1月24日(金) 17:00~19:00 場所 JVCA事務所

出 席 安藤雄太監事、内野恵美監事

(5)第4期中期ビジョンの策定

運営委員長、副委員長と事務局で構成するタスクチームを中心に、第4期中期ビジョン案を作成し、総会で 承認を得た。

(6) 会員拡大および会員サービスの充実

①会員拡大に関する取り組み

- ・ボランティアコーディネーション力検定合格者に対し、入会の案内を行った。
- ・オンライン企画において会員入会のPRを行い、入会があった。会員数については横ばいが続いている。

<12月31日現在の会員数>

	1	1
会員種別	人数	合計
正会員	334 人	
準会員	32 人	
賛助会員 (個人)	89 人	
賛助会員(団体)	8 団体	463 人·団体

(7) 事務局運営の充実

- ①職員退職 2月29日付で常勤職員が依願退職した。
- ②職員採用 4月1日付で非常勤(週2日)職員を採用した。

(8) 財源の確保

①新型コロナウイルスの拡大により、主要事業である「講師派遣事業」および「検定事業」が大きな影響を受けた。 大幅な減収への対策として緊急の財源確保対策を検討し、実施した。

<新型コロナ対応・緊急募金の実施>

目標:1,500,000 円 実績:1,579,600 円

件数:127件(9名重複) 期間:6月6日~8月末(実際には9月上旬まで)

②助成金、委託事業などの活用

トヨタ財団「しらべる」助成金 ⇒不採択(マラソン大会・ボランティアマネジメント) 災害ボランティア・NPO活動サポート募金(災害ボラサポ) ⇒採択(長野被災地支援) 独立行政法人福祉医療機構(WAM)⇒採択(JVCCに代わる研究集会)

③「おサイフ通信」の発行(財政委員会) 2回

第12号(12月14日)新型コロナ対応・緊急募金の報告と御礼

第 13 号 (12 月 16 日) 年末寄付キャンペーン協力へのお願い

(9) 20周年記念事業についての検討

2021年1月(法人化8月)に設立20周年を迎えることに伴い、記念行事について検討したが、新型コロナウイルスの感染拡大およびオリ・パラの順延を受けて時期を2021年の夏以降に遅らせることで合意した。